遠賀川流域活動報告

第 39号
平成 26年 11月

「遠賀川源流の碑」建立記念式典

10月19日（日）、嘉麻市内の遠賀川源流公園で『遠賀川源流の碑 建立記念式典』が行われ、嘉麻市長、芦屋町長をはじめ、地元住民、遠賀川の上・中・下流域の子ども達など50人以上が参加しました。

ここには木製の碑がありましたが、設置後23年を経て老朽化したため、遠賀川流域の河川愛護団体や行政が立ちあげた「遠賀川源流の碑建立実行委員会」が一般社団法人北部九州河川利用協会の支援を得て御影石の碑にリニューアルしました。

式典で挨拶した実行委員会の松岡朝生会長は、「遠賀川の源流から流れる一滴一滴が大河となって田畑を潤し、流域住民の“命の水”として大切に利用されています。この源流の碑の建立を機会に、更なる河川愛護の啓発に努め、子々孫々までこの源流の地を大切にしていきたい」とおっしゃっていました。

コスモス花鑑賞会 香月・梅崎橋コスモス畑

10月3日（金）、北九州市八幡西区黒川河川敷の香月・梅崎橋コスモス畑で「ふるさとまちづくりの会」の主催による『コスモス花鑑賞会』が開催され、多くの地元の子ども達や住民が参加しました。

今年のコスモスは生育がよく、子ども達は背丈以上もある花に埋もれて見え隠れしながら畑の中を走っていました。

以前この場所には、雑草が生い茂り、家電や廃材などが不法投棄されていました。心を痛めた地元の方々が「大切な黒川の周りをきれいにしないといけない」との思いで「ふるさとまちづくりの会」を平成13年に設立し、河川敷をコスモス畑に変えるアイデアを遠賀川河川事務所に持ちかけられて、様々な試行錯誤を繰り返して夢を実現させました。

参加した皆さんのお楽しみは、子どもたちのメッセージをつけた風船を一斉に飛ばす「風船飛ばし」です。「風船が上がったときの、子どもたちの喜びようはすごいですよ。広島や熊本から風船のメッセージを読んだと便りをいただくことも。コスモス畑ができてから、ゴミの不法投棄は全くなくなり、まちの環境美化に役立っていると実感できるのもやりがいです」と参加者から伺ったお話が印象的でした。

風船につけたメッセージ

子ども達、
どこにいるかな？

11月5日には種とりも行われました。

第６回彦山川ペーロン大会

９月23日（火・祝）、田川市内の彦山川高柳堰周辺で『第6回彦山川ペーロン大会』が開催されました。本大会は、楽しみ遊びながら川に親しみ、河川愛護や河川環境を向上させることを目的に地元の環境保護団体などでつくる「彦山川ペーロン大会実行委員」が主催し、9チームの選手約100名が参加しました。

レースでは、全長300mの折り返しコースを10人乗りのボートで2回漕ぎ、その合計タイムで順位を競いました。初参加の4チームのなかには、蛇行したりふらついたり、何度も回ってしまうものがあり、岸辺から大きな声援と笑いが飛んでいました。

子ども達も漕ぎ手に

最後尾で舵取り。
ここも重要!!

岸からは応援や笑いも

列車と競争？早い！

【レース結果】

順位	団体名（記録）
優勝	レスキュー・田川消防署（5’39）
2位	みろく園（6’47）
3位	直方パドリングクラブ（7’35）

河川敷で遊ぼう！　第８回　遠賀川わくわく夢フェスタ

10月19日（日）、直方市内にある遠賀川水辺館前の河川敷で『第8回遠賀川わくわく夢フェスタ』が開催されました。このフェスタは、「直方で遊ぼう・食べよう・学ぼう」をテーマに平成18年度から雨天中止の平成22年をのぞき毎年開催されています。平成23年からは『のおがた水辺マラソン大会』と同時開催しており、マラソンスタート時には千人を超すランナーであふれます。

当日は晴天に恵まれ、多くの人が子ども遊園地やカヌー教室といった参加型のアトラクションやヤギとのふれあい場、手作りコンサート、野外アート、防災関連パネルやマンガの工事看板、露店などを訪れていました。

ラジコンで空撮が可能な
マルチコプターのデモ飛行

のおがた水辺マラソン大会

災害記録や、黒田官兵衛、
伊藤伝右衛門のパネルも。

カヌー教室

子ども遊園地

澄み渡る秋空と野外アート

中島 秋の自然観察会

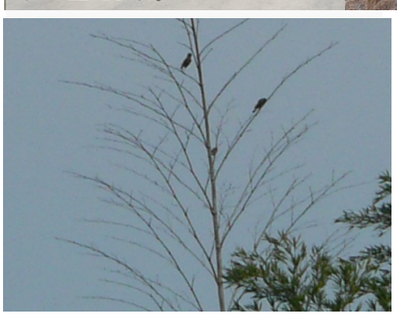
10月26日（日）、遠賀川の自然再生事業を行っている中間市中島で、「中島自然再生協議会」が主催する毎年恒例の『秋の自然観察会』が実施されました。

今回は、北九州野鳥の会のご協力による野鳥観察や、専門家による植物観察会も行われました。同じウリ科の植物でも外来種のアレチウリと在来種のカラスウリが違うことや、ススキのようなものが実はオギだったりと、新しい発見が多くありました。また、オギの群落ができている湿地もあり、自然再生事業の整備効果も確かめられました。

なお、アレチウリは、観察後に適切に除去しました。 外来種については、8ページの「遠賀川河川事務所からのお知らせ」で詳しくご紹介しています。

カヤネズミの巣を発見！

同じウリでも葉や茎のさわり具合（とげとげ感）が違う！



↑本格的な望遠鏡で野鳥観察（カメラでは撮影できない遠くの野鳥の様子を観察！）。
観察した鳥の特徴などをパネルでわかりやすく説明いただきました。→

遠賀川トピックス【JR 直方駅前広場に「大関魁皇」像が完成】

私たちに、数えきれないほど多くの感動と勇気を与えてくれた大関魁皇。
史上一位の記録となる通算勝利数1047勝を達成し、惜しまれながら引退しました。
その活躍を顕彰しようとする多くの市民の方、全国の多くの魁皇ファンのご支援により、JR直方駅前広場に大関魁皇像を建立しました。

大関魁皇像は、高さが238cmで「土俵上で塩を握りしめ、内に闘志を秘めて勝負に望む姿」を表現しています。その雄姿を見るだけでなく、大関魁皇の力強さに触れていただくため、土俵の形を模した台座の高さを低くしています。

直方のまちに、新しいシンボルが誕生いたしました。

（寄稿 ： 直方市　政策推進課）

左：土俵上で今まさに塩を撒こうとしている魁皇関の姿。 迫力があります。

右：除幕式の様子。浅香山親方（元・魁皇関）も参加され、直方駅前には大勢のファンが集まりました。

遠賀川下流圏域の話題（寄稿：芦屋町　地域づくり課）

あしや砂像展～２０１４冬の砂物語

芦屋町では、芦屋海浜公園レジャープール内特設会場で、9年ぶりとなる砂像イベントを12月25日（木）まで開催しています。場内には砂像彫刻家の手による高さ4m幅12mのキリストの誕生を表現した砂像をはじめ、キリストの一生やクリスマス、冬を表現した砂像を12基展示しています。

11月28日からは砂像ライトアップ（日没～20時）と場内イルミネーションにより、幻想的な雰囲気をお楽しみいただけます。ご来場をお待ちしています。

ライトアップされた砂像

直鞍圏域の話題（寄稿：宮若市　産業観光課）

日本一の大門松

犬鳴川の水源地である宮若市は、清流と山深い景色が自慢です。そんな豊かな自然に囲まれた宮若市の農産物直売所「ドリームホープ若宮」に隣接する第18回日本一の大門松祭り（開催日12/7(日)）の会場では、大門松の設置作業が大詰めを迎えています。

2本ある大門松の大きさはそれぞれ全高9.5m、台座は高さ2m、直径5mあり、のべ300人の観光協会会員が約1ヶ月かけて市内の竹350本（真竹200本、孟宗竹150本）と、樹木を丸ごとつかってつくります。また、市内の宮田南小学校3年生が手作りした干支の絵馬が奉納され、太さ約15cm、長さ10mの注連縄がかけられます。この大門松は、1月8日まで見ることができ、1月11日のどんど焼きで焼納されます。近くの脇田温泉とあわせ、ぜひお立ち寄りください。

※写真は昨年の様子です。

日本一の大門松 夜にはライトアップも

どんど焼き

嘉飯圏域の話題（寄稿：川船製作研究会）

のんびり川面を遊覧～復元川ひらた乗船会

先のNHK連続テレビ小説「花子とアン」の効果で、旧伊藤伝右衛門邸が賑わっています。「川ひらた」は、明治から大正にかけて遠賀川で大活躍した石炭輸送船で、伊藤伝右衛門も十代の頃に船頭経験があり、妻の白蓮も邸の2階から眺めていたと伝えられています。

観光客に当時の川ひらたを味わっていただくため、9月下旬から10月末までの週末に、邸近くの遠賀川で「復元川ひらた乗船会」を初めて開催しました。

4日間にのべ32回を運行し、約300人に遠賀川の川面での名ガイドの話と、秋のさわやかな風を楽しんでいただきました。

お客様からの「いい思い出になった」「次はいつ？」との声に励まされ、また乗船会を開催したいと考えています。その際はぜひ一度ご乗船下さい。

日本で唯一、乗船できる原寸大の復元川ひらた
（長さ14m、幅３m、重さ約２トン）

名ガイドの軽妙な語り口

旧伊藤伝右衛門邸
9～10月の2ヶ月間で
約9万人が訪れました。
（飯塚市）

助っ人船頭で参加の大学生と川船製作研究会員

田川圏域の話題（寄稿：㈱おおとう桜街道）

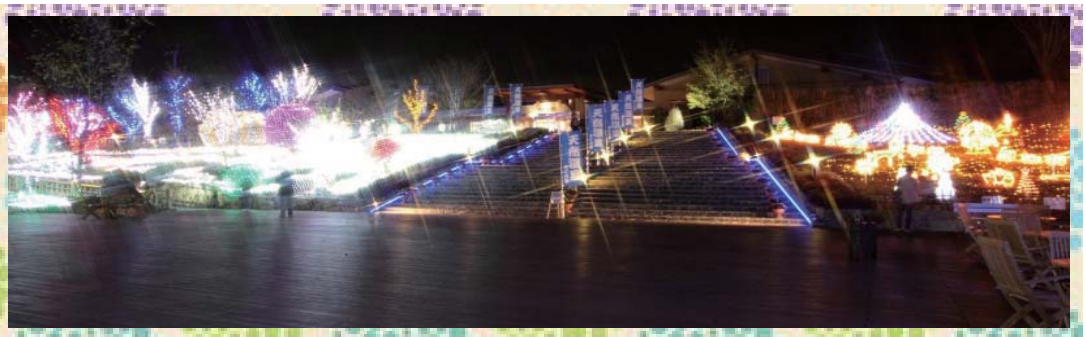
イルミネーションによる光の祭典 in 道の駅おおとう桜街道

道の駅おおとう桜街道では、11月下旬から2月1日（日）まで、17時30分から22時30分までの予定でイルミネーションを点灯します。

今では大任町の冬の風物詩として定着し、約４５万のLED球が、道の駅おおとう桜街道内や周辺の街路樹に鮮やかに装飾され、毎年県内外から数多くの皆様が訪れています。

ぜひ、道の駅おおとう桜街道のイルミネーションを見にお越し下さい。

※レイアウトは毎回変更しています。写真は過去の開催状況です。



道の駅おおとう桜街道のイルミネーション

12月～１月のイベント情報

※ 各イベント名の前に付いている番号は、次ページの地図に表示のイベントを示しています。

事前申込が必要なイベントがあります。また、天候により開催日が変わることがありますので、お問い合わせ先にご確認ください。

①第8回　宮若冬ほたるイルミネーション祭り

11月28日(金)～H27年1月31日(土)

概要：11月28日に点灯式を行い、ブラスバンドの演奏などで盛り上げる。
多くの市民の方がイルミネーションを見て温かい気持ちに包まれるようにとのことで毎年開催。
会場：宮若市宮田　宮若リコリス
主催：宮若商工会議所青年部
tel.　0949－32－1200

②献鮭祭

12月13日(土)

概要：嘉麻市には、鮭神社という鮭を神様の使いとして祀っている全国でも珍しい神社があり、その年の遠賀川流域を遡上してきた鮭を奉納する。
会場：鮭神社（嘉麻市大隈542）
主催：氏子総代(田中)
tel. 0948－57－3523

※今年のサケの遡上の情報は下記をご覧ください。

③彦山川クリスマスイルミネーション

12月23日(火)～25日(木)

概要：子や孫に誇れるふるさとの川として伝えていくため、河川敷にイルミネーションを設置。川面に浮かぶイルミネーションを鑑賞しながら、川の現状と将来を考えよう！
会場：彦山川ばんだごうら河川敷
（田川市伊田：神幸祭の会場）
主催：イルミネーション実行委員会
tel. 080-5261-1744

④遠賀川源流若水くみ

1月1日(祝)

概要：年の神を迎え、一年間の家族の健康と五穀豊穣を祈願する行事。昔は年男（世帯主か長男）が暗いうちに起きて井戸や近くの川から水を汲んで神棚に供えていたという。
会場：嘉麻市桑野　遠賀川源流公園
（国道211号線　嘉麻峠手前）
主催：I LOVE遠賀川in嘉穂実行委員会
tel.090-4581-8649

⑤第38回新春マラソン

1月11日(日)

概要：誰でも参加できるマラソン大会。3km、5km、10km、20kmの四種目がある。1500人の参加者が走ります。
会場：直方市溝掘　水辺館前遠賀川河川敷公園
主催：新日本スポーツ連盟
tel.093－662－9278

⑥第34回ふるさと遠賀川親子凧あげ大会　　1月18日(日)

概要：「親子のふれあい　子どもたちの笑顔」を目的に毎年開催。
手作りの凧をあげて（市販の凧も可）独創性等を審査（賞品もあり）。豚汁のサービスもあり。
会場：中間市役所前遠賀川河川敷
主催：中間市子ども会育成連絡協議会
tel. 093－246－2321

遡上ラッシュ！？ ２年連続、今年も遠賀川にサケが帰ってきました！

10月３日(金)、芦屋町にある芦屋漁港周辺で、がざみ(ワタリガニ)の網にサケがかかりました。遠賀川河川事務所で把握しているところでは、これが今年度初めて確認されたサケです。

11月３日(月)、今度は遠賀川河口から約4．5km上流の遠賀町内の戸切川で死んで浮いているサケが発見されました。その後、11月５日(水)には遠賀町内の西川の支川吉原川に接続する水路で3尾目が、11月９日(日)には1尾目が捕獲されたのとほぼ同じ場所で4尾目が発見されました。

遠賀川流域及びその周辺でのサケの確認は、3年ぶりに捕獲された昨年度に引き続き2年連続となります。遠賀川流域では、「遠賀川源流サケの会」や「遠賀町青少年育成町民会議」がふ化・育成したサケの稚魚を、地域の皆さんの手で放流する活動が毎年各地で行われています。

捕獲されたサケは、12月13日(土)に嘉麻市の鮭神社で行われる『献鮭祭』(イベント情報②)で奉納される予定です。

捕獲日：2014.10.3
捕獲場所：芦屋漁港周辺がざみ（ワタリガニ）の網で捕獲
全長：約７２cm　　性別：メス

捕獲日：2014.11.3　　（写真：遠賀町教育委員会提供）
捕獲場所：遠賀町戸切川若松橋付近で死んで浮いているのを通行人が発見
全長：約７８cm　　性別：オス

発見日：2014.11.7　　（写真：遠賀町教育委員会提供）
発見場所：西川の支川吉原川の用水路で発見
全長：約７５cm　　性別：メス

捕獲日：2014.11.9
捕獲場所：芦屋漁港周辺がざみ（ワタリガニ）の網で捕獲
全長：約７７cm　　性別：オス

遠賀川 水辺のイベント（12月～1月）

外来種について！

1. 外来種問題

「外来種」は、もともとその地域にいなかったのに、人間の活動によって他の地域から入ってきた生物です。

外来種は、もとからいた種(在来種)を食べてその数を大幅に減らしてしまったり、在来種と交わって血筋を絶やすなど、生態系に悪い影響を与えることがあります。また、伝染病を持ち込んだり、花粉症の原因になったり、あるいは、噛んだり刺したりするなど、人に直接病気や危害を加えることもあります。そのほかにも、農業･林業･漁業へ影響を及ぼすことがあります。

遠賀川では、平成２６年１月、アリゲーター･ガー(右の写真)が捕獲されました。ペットが野外に放たれたものですが、調査の結果、遠賀川で６～７年冬を越しており、複数個体いれば、繁殖の可能性もあるということが判りました。また、遠賀川の河川敷の植物の中にも、たくさんの外来種をみかけます。

【体長 116cm】

下の写真は外来種の一例です。

※(特)；特定外来生物

セイタカアワダチソウ

オオキンケイギク(特)

オオブタクサ

セイバンモロコシ

アレチウリ(特)

ブルーギル(特)

ブラックバス(特)

※特定外来生物とは、外来生物による被害を防止するため、「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」で指定されたものをいいます。特定外来生物を許可なく運搬したり、植えたり、野外に放つなどの行為を行うと罰せられます。

2. 外来種が川に入ってくる原因

堤防ののり面や河川敷に持ち込まれた外来植物が繁殖し、その種が、川に流されたりして広がるケースがあります。また、ペットとして飼われていた外来動物や観賞用の外来植物が捨てられたり、逃げ出したりするケースや食用や釣りのため放流されたりするケースなどもあります。

ミシシッピアカミミガメ

ミドリガメとして縁日などで売られているカメで、飼育できなくなって野外に捨てられたものが川や池などに広がったと考えられています。

すみ場所やエサをめぐって在来のカメに悪影響を与えていると考えられています。

3. 豊かな自然環境を守るために（外来種への対策！）

外来種問題を改善するためには、外来種が入ってくるのを防ぐ「予防」と、入ってしまった外来種を除く「除去」などの方法があります。広がってしまった外来種を除去することは、とても大変で、費用がかかります。このため、外来種による被害を予防することが大切です。

外来種被害予防三原則！

1. 入れない　～悪影響を及ぼすかもしれない外来種をむやみに入れない
2. 捨てない　～外来種を捨てない
3. 拡げない　～野外にすでにいる外来種は他の地域に拡げない

※生き物は、最後まで責任をもって飼えるかどうか、事前によく考えてから飼うようにしましょう。
飼えなくなったり、釣りなどを楽しむために生き物を野外に放つことはやめましょう。

遠賀川流域だより
皆様のご意見、ご感想をお寄せください。
発行　国土交通省遠賀川河川事務所
住所　直方市溝堀１丁目１－１
電話　（０９４９）２２－１８３０
ＦＡＸ（０９４９）２２－２８５９
ＨＰアドレス http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/
協力　ＮＰＯ法人遠賀川流域住民の会
電話　０９４８-２２-３５３５
http://www.ongagawa.jp/